

図書館だより 第29号

鹿児島国際大学附属図書館報

The International University of Kagoshima Library

— 目 次 — contents

- Book of Life ～私と図書館～ 2～3p
「時空を越えた出会いの場“図書館”」 杉山 朱実
「読書の思い出」 井手口 彰典
- 情報の電子化時代 古瀬 徹 4p
- あなたのお悩み解決し隊!! (第5回：新聞記事を探す) 5～6p
- Library Report 7～8p



わたしと図書館 ~Book of Life~

時空を越えた出会いの場“図書館”



大学正門より



図書館利用者証

フランスは平穏で、20年来、往来している、いつもと変わらないフランスであったのだが、9月から大統領がサルコジ氏に変わり、その変革の嵐のなかでインフレ、ストライキ、デモの渦中に巻き込まれる滞在となってしまった。フランスの大学構内も、椅子や机でバリケードがなされ、重々しい雰囲気であったが、唯一の救いが、私の研究室のある研究棟（La maison de la recherche）と図書館であった。一時期は、大学側からオートロックをされた時もあったが、研究棟と図書館だけは、大学構内の他の施設がバリケードで封鎖され続ける中で、唯一バリケードがとかれ、午前中は研究棟で、午後は図書館で過ごすのが日課となった。

図書館での時間は、外での喧騒を忘れ、静かに書物と向かい合える唯一の静寂の時間であった。図書館のシステムは、日本（鹿児島国際大学）のものと同様であり、開架式で書物を閲覧でき、また、検索にパソコンを使うのも同様であった。そんななか、過去との出会いがあった。私がかつてフランスの大学院で書いた修士論文、DEA論文、博士論文である。当時は手書きで書いた論文が、すでにマイクロ・フィルムに移されており、新しい形での“過去の自分（論文）”

2007年9月23日から長期海外研修の機会を頂き、母校であるフランスの大学院へ特別研究員としての研究滞在を終え、2008年9月、無事に帰国することができた。無事というのは、2007年4月に、フランスのアルルで行なわれた学会発表に出席した時点での

との懐かしい出会いであった。また、新たな驚くべき出会いもあった。2000年4月に亡くなった一人の恩師の新書が、2000年7月に『Les Langues de l'Europe』として出版されていたことである。内容は、懐かしき大学院の授業でのものが中心であった。闘病のせいか「-詳細は、後の…」の“後の部分”が欠落した書物であったが、恩師の死後に出版された書物との出会いは、格別の感慨を覚えるものであった。

治安には不安を覚えるフランスであったが、帰国前の2008年7月上旬に、恩師アンドレ・マルティネ先生の生誕100周年記念学会がパリのソルボンヌ大学であり、20年来論文の抜き刷りをご恵送して下さっていた思い出等を、懐かしくマルティネ婦人とお話でき、帰国前の最大のよき思い出となった。



学会会場風景



マルティネ先生と著者

フランスの図書館での、過去と未来の書物を通しての出会い、学生の皆さんにもそんな懐かしい出会いができる場として、是非、図書館を利用して欲しいと願っている。

追伸ながら、嬉しい卒業生からの知らせがあった。2008年3月に卒業した卒論ゼミ生が、研修期間を終え念願のCA（キャビン・アテンダント＝スチュワーデス）になれたと11月に大学の研究室を訪ねてくれた。世界へ羽ばたく先輩が目標を貫いたこと、きっと、次に続く学生がいることを願っている。



読書の思い出

福祉社会学部講師 井手口 彰典

本にまつわる記憶を過去へ過去へと遡っていくと、幼い頃、就寝前に両親が毎夜続けてくれていた「読み聞かせ」へと辿り着く。幼稚園、いやそれ以前からだったろうか、いろいろな話を聞かせてもらったものだ。内容をはっきり覚えている本は少ないが、今になって思い返せば、子どもが一人で読み下すには多少難しいものも含まれていたのだろう。だが、自分で文字を追わずとも枕元で両親が語り聞かせてくれ、また難しい言葉や表現にはその都度説明が入ったので、私は難なくストーリーを追うことができた。ひょっとすると、「退屈して早く寝てくれれば」というのが両親の本音だったのかもしれない。だが私は話に熱中し、寝付くどころかもう一節、もう一節と先をせがんだ。

この読み聞かせのお陰で、多くの言葉を覚えた。主人公の感情を汲むことも得意になった。得意なものは、より好きになる。正の循環構造というやつだ。やがて自ら本を手に取り、読み進めるようになった（もちろん、同じくらいのマンガもだが）。小学校の図書館に並ん

だ中山恒の一連の作品や、ブライアン・アーンショウの「おんぼろ宇宙船」シリーズが大好きだった。高学年になるとK・ル＝グウィン「ゲド戦記」シリーズに熱中し（宮崎映画より15年も前の話ですヨ!）、図書館の本ではなく自分のものが欲しいと父に頼み込んだりもした。今日まで続く私の読書体験は結局、両親が紡いでくれた物語をその原動力にしている。

さて、そんな私も08年10月にいよいよ父親になる。この文章が公開される頃には、慣れない子育てに大わらわだろう。だが「読み聞かせ」だけは追々忘れず実践したいものだ。幸い国際大の図書館には児童書も多く収められている。それらを借りて帰って、夜な夜な娘に物語る。そんな妄想をして悦に浸る親バカ候補に、とうとう自分もなったようだ。



ちょっとひと息

図書館トリビア

ブラウジングコーナーにある大型の閲覧テーブルは、鹿児島県の地形をイメージした形になっています。



情報の電子化時代

大学院福祉社会学研究科教授 古瀬 徹

図書館のパソコンの前はいつも学生でいっぱいです。これまでの図書に比べてパソコンによる情報は、①最新の資料が得られる②パソコンがあればあとはスペースが要らない③費用は無料である④双方向の知識が形成されるという特徴があります。ですから、これからも一層情報は電子化していき、「電子図書館」は発達していくと思います。私は「教える」という立場で、電子化された情報を工夫しています。今日は、その紹介をします。

1. 大学のホームページ

私が担当する科目は、大学院では「高齢者福祉学」「国際保健福祉論」、学部では「社会福祉概論」です。大学のホームページの教員（私の場合、大学院の教員欄）欄にマークがあるのでクリックしてください。

サイト名は、「[社会福祉学講義資料](#)」となっています。ここに、担当する科目のシラバスや関連するサイトのリンクがしてあります。アドレスは、<http://www.iuk.ac.jp/~tfuruse> です。

2. ホームページを保管するブログ

先生方の中には、講義でブログを利用されている方もおられますね。

「社会福祉学何でもあり BLOG」

<http://blog.goo.ne.jp/bonn1979/> は、毎週の講義の予告や終了後のまとめを書いています。院生からはよくコメントをもらいます。学部（1年生）も最近ではコメントしてくれる人が増えてきました。講義の時間だけではなく、24時間365日、私は学生達に発信していますし、学生もいつでも質問し、意見をいうことができます。そして、その内容を広く世の中の人に見てもらえます。

3. 院生と作るブログ

最近、大学院の講義の時間に院生達と相談して作り始めたブログがあります。3名の受講者はいずれも中国からの留学生なのですが、

「[中日忍者隊](http://fwcl.blog.shinobi.jp)」 <http://fwcl.blog.shinobi.jp>

というのです。アドレスのFは私、W、C、Lの3人は留学生の頭文字です。共同で作成する、というよりは院生が作り、私がコメントするというタイプのブログとして毎日楽しんで書いています。私が院生から学ぶことも多いです。外部の方のコメントもあります。是非ご覧ください。



ちょっとひと息

次のうち、人気推理作家・西村京太郎の作品は？
(答えは次のページ)

- ① 西鹿児島駅殺人事件
- ② 指宿・桜島殺人ライン
- ③ 南九州歴史探訪殺人事件

* 『めざせ!! 鹿児島知っちょいどん』(高城書房) より



あなたのお悩み解決し隊!!

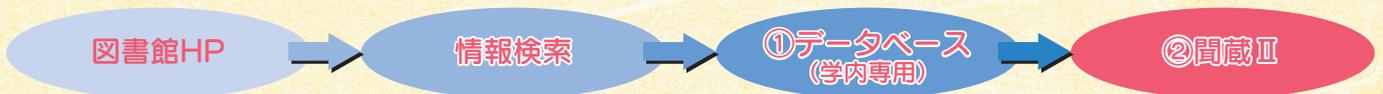


第5回：新聞記事を探す

最も早く情報を提供する媒体は、新聞です。今回は、新聞記事を探すデータベースをご紹介します。

聞蔵Ⅱ ビジュアル for Libraries (朝日新聞オンライン記事データベース)

朝日新聞社が提供しているデータベースで、1945年から今日までの朝日新聞記事と、『週刊朝日』、『AERA』の記事を検索できます。



① データベース (学内専用)

※学外からの利用はできません。

- Web of Science: 論文の引用関係を効率的に追うことの出来る引用文献索引データベース。
- ProQuest Academic Research Library: 人文社会から自然科学まで幅広い分野の雑誌記事索引、記事全文データベース。
- ABI / INFORM: ビジネス・経営情報の先端的データベース。
- eol DB タワーサービス: 全国証券取引所および JASDAQ 上場企業の有価証券報告書データベース。
- WebSPIRS EconLit: 各国の経済学に関連する文献の索引データベース。
- PsycINFO: 心理学関連文献の書誌情報・収録データベース。

② 聞蔵Ⅱ ビジュアル for Libraries

朝日新聞オンライン記事データベース。

朝日新聞記事全文、東京本社及び各本支社発行の最終版から各都道府県の県庁所在地で発行する地方版(沖縄を除く)のほか「AERA」「週刊朝日」「知恵蔵」を収録します(当日の新聞に掲載された記事までが検索対象となります)。1945年(終戦直後)から今日までの記事すべてが検索可能です。

【戦後紙面データベース】 1945年～1984年までの新聞紙面を収録。見出し語や分類で検索。

【現代テキストデータベース】 1984年以降はテキスト表示の全文一致型データベース。2005年11月以降の記事は「切り抜きイメージ」も掲載。

※ 2005年11月以降の切り抜きイメージをご閲覧いただくには「Adobe Reader」を、1945年～1984年までの紙面(戦後紙面)イメージをご閲覧いただくには「Microsoft Internet Explorer」のプラグイン「ドキュメントスキャナー」を閲覧ソフトとしてインストールする必要があります。

ドキュメントスキャナーのインストールについては聞蔵Ⅱ ビジュアルにログイン後、右上の「使い方」から「DocumentSkipper」のダウンロードはこちらをクリックして手順に使いダウンロードしてください。

STEP 1 キーワードを入力する。

シンプル検索と詳細検索のどちらかを選択してください。

シンプル検索画面

詳細検索画面

ちょっとひと息(こたえ)

ちょっとひと息 (こたえ)

① 西鹿児島駅殺人事件



STEP 2 一覧表示から必要な記事をピックアップする。

朝日新聞 1985~ 週刊朝日 AERA 朝日新聞縮刷版 1945~1984 知恵蔵 人物

検索画面へ戻る

鹿児島 図書館 再検索

AND OR NOT

※ログインして検索すると著作権などの制限がなくなります。

発行日 28件 通番号: 21 ~ 28

全選択 全解除 本文表示

No.	発行日	朝夕刊	面名	ページ	文字数	写真図表	関連素材
00021	2008年10月2日	朝刊	佐賀県・2地方	024	03132文字		あり
00022	2008年10月1日	朝刊	福岡・2地方	026	02349文字		あり
00023	2008年10月1日	朝刊	宮崎県・2地方	030	03326文字		あり
00024	2008年9月30日	朝刊	長崎・2地方	034	03337文字		あり
00025	2008年9月30日	朝刊	鹿児島県・2地方	034	03355文字		あり
00026	2008年9月27日	朝刊	熊本県・2地方	034	01653文字		あり
00027	2008年9月27日	朝刊	鹿児島県・1地方	035	00157文字		あり
00027	2008年9月17日	朝刊	佐賀県・2地方	026	05439文字		あり

記事の見出し

朝・夕刊の区分

地域面の場合は、掲載された地域名

掲載頁

青い文字の見出しをクリックすると記事の全文が読めます。

見出しが緑の文字で表示されている記事は、著作権の関係で、本文は表示されません。

このアイコンがある記事は、新聞の切り抜きをイメージした、紙面の画像データを、閲覧できます。プリントも可能です。(収録期間: 2005年11月以降)

聞蔵IIビジュアル

朝日新聞 1985~ 週刊朝日 AERA 朝日新聞縮刷版 1945~1984 知恵蔵 人物

検索画面へ戻る

総件数: 28件

No.	発行日	朝夕刊	面名	ページ	文字数
00027	2008年9月27日	朝刊	鹿児島県・1地方	035	00157文字

作家・島尾敏雄の旧居、保存請願を採択 奄美市議会 / 鹿児島県

作家の島尾敏雄が10年間暮らした奄美市の県立図書館奄美分館長宅について、市議会は26日、住宅を現状のまま保存し、文学公園として整備するよう求めた市民団体からの請願を9月定例会本会議で全会一致で採択した。

住民の災害時の避難場所にするため住宅を解体する市の方針に、島尾と交流があった市民らが反対し、請願を出した。

前の記事 | 次の記事 | 最初の記事

検索画面へ戻る

■聞蔵IIビジュアル・フォーライブラリー及びその記事記事・画像等は、日本の著作権法並びに国際著作権条約に基づき、著作権者の権利を尊重し、著作権法上の制限的例外を適用し、著作権者の同意を得ずして複製、転載、配布、販売等を行うことはできません。その他、朝日新聞社及び第三者の権利を侵害する一切の利用をお断りします。→「聞蔵II著作権について」はこちら

Copyright 2008 The Asahi Shimbun Company. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.

聞蔵IIビジュアル

朝日新聞 1985~ 週刊朝日 AERA 朝日新聞縮刷版 1945~1984 知恵蔵 人物

検索画面へ戻る

発行日	紙誌名	面名	ページ	文字数
2008年9月27日	朝日新聞	鹿児島県・1地方	035	00157文字

作家・島尾敏雄の旧居、保存請願を採択 奄美市議会 / 鹿児島県

島尾敏雄の旧居 保存請願を採択 奄美市議会

作家の島尾敏雄が10年間暮らした奄美市の県立図書館奄美分館長宅について、市議会は26日、住宅を現状のまま保存し、文学公園として整備するよう求めた市民団体からの請願を9月定例会本会議で全会一致で採択した。

住民の災害時の避難場所にするため住宅を解体する市の方針に、島尾と交流があった市民らが反対し、請願を出した。

朝日新聞 2008年9月27日 朝刊 35ページ 鹿児島県

島尾敏雄の旧居 保存請願を採択 奄美市議会

©朝日新聞社 無断複製転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

* 朝日新聞以外の新聞記事について

聞蔵IIは朝日新聞の記事のみの検索ですが、以下のデータベースを利用すれば、他の新聞記事も検索できます。

- ・ **南日本新聞データベース**... 1995年以降の南日本新聞の掲載記事と、2005年以降の共同通信社配信記事の検索と閲覧ができます。(本学では1988年から、現物を保存しています。)
- ・ **日経テレコン21**... 「日経4紙」(日本経済新聞、日経産業新聞、日経MJ、日経ヴェリタス)、一般紙、専門紙、地方紙をはじめ、日経BP社発行の雑誌などの記事検索ができます。カウンターでの代行検索になります。利用したい方は、カウンター職員へお尋ねください。

Library Report

郷土資料コーナーについて

2Fブラウジングコーナーに、郷土資料コーナーができました。「かごしま文庫」をそろえています。また、テーマ展示も行なっていく予定です。第1弾の展示は、「篤姫関連資料」です。ぜひ、ご覧ください。



新規データベースの導入について

2009年4月から、下記のデータベースが利用できるようになります。

・NEXT 有報革命

有価証券報告書関連データベース

・EBSCOhost EconLit with Full Text, EBSCOhost SocilINDEX with Full Text

経済学分野と社会学分野の洋雑誌記事索引データベースです。全文の閲覧も可能です。

・南日本新聞データベースへのアクセス数を増やします。

2009年4月以降は、学内専用データベースとして、利用できるようになります。
(注意：どのデータベースも学外からの利用はできませんので、ご注意ください。)

新規継続雑誌について

2009年1月から、下記の雑誌を購入します。

- 『原価計算研究』(日本原価計算研究学会)
- 『法學新報』(中央大学出版部)
- 『週刊農林』(農林出版社)
- 『食育活動』(農山漁村文化協会)
- 『村落社会研究』(日本村落研究学会)
- 『ビジネスチャンス』(サクセスマーケティング)
- 『販売革新』(商業界)
- 『月刊ホテル旅館』(柴田書店)
- 『Revue francaise de sociologie』
- 『Journal of anthropological archaeology』

図書館実習を終えて

5月25日～5月31日までの1週間、鹿児島純心女子短期大学の学生が2名、図書館実習を体験しました。実習を終えての感想です。

鹿児島純心女子短期大学 高口 絵利子



こんにちは。鹿児島純心女子短期大学現代ビジネスコース2年高口絵利子と申します。私は今まで、事務職は向いていないのではと思っていましたが、実際に体験してみ

て、とても楽しく、事務職もとても魅力的な仕事だと感じました。図書館の方も、図書館に来る学生や先生方も親切で、明るい方々だったので、不安も無く、とても充実した一週間でした。短い間でしたが、本当にありがとうございました。

鹿児島純心女子短期大学 村尾 文

こんにちは。鹿児島純心女子短期大学現代ビジネスコース2年村尾文と申します。今年度より司書課程ができ第1期生として、国際大学の図書館で実習をさせて



ていただきました。とても設備が充実しており、職員の皆さんも優しく、働きやすかったです。大変なこともたくさんあると感じた実習でしたが、「司書」という職は、本当に素晴らしいと実感しました。学生の皆さんに「頑張ってください」という言葉を頂けたことで、この実習を乗り切れたと思っています。ありがとうございました。



新スタッフ紹介

2008年度は4名の新スタッフが加わりました。



総務係：和田 由紀乃

今年4月から、異動になり図書館に勤務しています。配属は総務係で、主に経理や図書の発注等を担当しています。図書館に勤務して、取り扱う資料の多様化やインターネット等の普及により、大学図書館職員に求められるニーズが変化しつつあるということを感じています。学生の皆さんの学習支援、教員の方々の教育・研究活動の支援の一助となれるよう、業務に励みたいと思います。



総務係：橋口 万里

今年度4月から、図書館に勤務することになりました。現在、総務係として図書の受入などの業務を行っています。図書館に勤務するようになり、本が図書として貸出できるようになるまで受入・目録・配架という過程があり、一冊ずつ丁寧に時間が掛けられていることを知りました。至らない点もあるかと思いますが、少しでも図書館を利用してくださる皆さんのお役に立てるよう、日々業務に努めて参ります。



情報整理係：鵜木 史代

本年度4月に、鹿児島高等学校より異動してまいりました。今まで図書館という利用のみでしたが、図書館業務に携わることによっていろいろな係があることを知りました。周りの方に指導いただきながら、視聴覚資料のレコード遡及入力を担当しています。少しでも皆様のお役に立てるようがんばります。



情報整理係：前田 理恵

平成19年度の司書講習をこちらで受講し、今年の4月から図書館で勤務させていただいています。現在は情報整理係で和書の目録業務を担当しています。未だ不慣れなことも多く、毎日が勉強の日々ですが、図書館の先輩職員の方々に支えていただきながら、楽しく、やりがいを持って日々の業務を行っています。皆さんの充実した図書館ライフのお役に少しでも立てるよう努力を重ねていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

編集後記



1年が過ぎるのは早いものです。今回こそ、あわてずに発行したいと思いながら、気がつけば、10月になっていました。当初の予定を大幅に変更し、たくさんの方に原稿を書いていただきました。急な申し出でしたが、快くお引き受けいただき、ありがとうございました。

図書館は奥が深い世界です。その世界を少しでも多く知ってもらえるよう、そして、よりよく使ってもらうように、情報を提供していきたいと思います。次号は30号。いつも以上に気合を入れて制作したいと思います。意気込みだけにならないよう、気をつけます…。(E.M)

図書館だより—鹿児島国際大学附属図書館報— 第29号 2009年1月10日発行

鹿児島国際大学附属図書館 〒891-0197 鹿児島市坂之上8-34-1

TEL:099-263-0732 FAX:099-261-1198 E-mail:tosyokan@ofc.iuk.ac.jp
(URL) <http://www.iuk.ac.jp/~tosyokan/> (携帯URL) <http://lbweb.iuk.ac.jp/nbp/>